

# 土木

相双建設事務所 企画管理部  
令和6年度採用

## わたしを表すKEYWORD

### # 車

ドライブが好きで、好きな音楽を聴きながら車を走らせるとリフレッシュできます。自然の景色を楽しみながら、自分だけのリラックスタイムを過ごせるのが魅力です。。

### # カメラ

車でかけて風景や景色をカメラで撮影するのが好きです。移動中に新たな発見があり、美しい瞬間を写真に収めるのが楽しみです。

### # 神社

### # 温泉

### # 海

私は

外に出ること

が好き!



## 人と地域をつなぎ、未来ある県土を築く

私の仕事は、工事の監督員として現場の進捗や安全を管理し、品質管理をはかること、そして担当地域の住民の方の要望に応えることが主な役割です。工事を通じて地域の生活基盤を支え、住民の方から直接感謝の言葉をいただけることがやりがいです。また、地域の安全や利便性向上に貢献しているという実感が、公務員としての責任感を高めてくれます。

## 県職員を目指した理由

工業高校の土木課に進学し、土木に興味を持ちました。もっと専門的な知識を学びたいと思い大学に進学し土木を専攻しました。

就職活動を進める中で、福島県で働きたい、地元である福島県に土木で貢献したいと思い、県の土木職員を志望しました。



↑ 特別支援学校を見学する様子

## 職場の雰囲気について

職場は、明るく和やかで、職員同士、仲良く協力しながら働いています。意見交換も活発に行われ、お互いを尊重し合いながら働ける環境だと思います。

## とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:00 現場確認
- 11:00 書類整理
- 12:00 昼休み
- 13:00 打ち合わせ
- 14:30 工事設計書作成
- 16:00 書類整理・確認
- 17:15 終業

## 新採用職員研修・サポート職員制度の感想



↑ 所内研修の様子

新採用職員研修と土木部専門研修があり、基礎から実務まで幅広く学ぶことができ、仕事への理解を深めることができます。

職場では、先輩職員が自分の仕事の時間を割いて、優しく仕事を教えてくれるので、安心して仕事を進めることができます。

## この1年間で、印象に残った経験

住民の方からの要望に応えた際にいただいた感謝の言葉です。自分の業務が地域の生活に役立っていると実感し、大きなやりがいを感じました。

一方で工事を進める中での調整や予期せぬ課題への対応の難しさも痛感しました。

これらの経験で、計画性や柔軟な対応の重要性を学び、公務員として成長できた一年になったと思います。



## 福島県職員として実現したいこと、目標としていること

福島県職員として、県民が安心して暮らせる地域づくりを目指しています。住民の声をしっかりと聞き取り、その意見を仕事に反映させることで、地域の課題を解決し、より良い暮らしを実現したいと考えています。

安全で快適なインフラ整備や災害に強いまちづくりに力を入れ、県民一人ひとりが安心して未来を描ける福島県を築いていきたいです。